

平成22年度 秋の全国火災 予防週間 防火もちつき



●若草保育園で実施された「防火もちつき」。町消防団員と園児たちで、火災予防を祈りながら、「よしよ、よしよ」の掛け声に合わせて、元気に楽しく一緒にもちつき。●つきあがったもちを丁寧に丸める保護者と園児たち（左）●町役場を訪問して、奥名克美町長に「防火の誓い」を宣言する園児たち（左下）



火災予防を呼び掛ける 秋の全国火災予防週間

11月12日（金）「防火もちつき」が、幼年消防クラブを設置している私立若草保育園（元村伴子園長80人）で行われました。

同イベントは、11月9日（火）から15日（月）までの秋の全国火災予防週間に合わせて、町消防団（池田健吾団長500人）が実施。団員とのもちつきを通して、消防団活動への理解と協力および火災予防への呼び掛けを目的に行われ、町消防団本部役員と園児の保護者などが参加しました。

秋の全国火災予防週間は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防を呼び掛けて、火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年この時期に実施されています。

期間中に町消防団では、「防火もちつき」のほかに、非常呼集訓練など火災予防に関する取り組みを毎年行っています。

町消防団員と一緒に防火 を誓ってもちつきを体験

若草保育園では、約25㎡のもち米を用意。始めに、池田団長が「火遊びは、とても危険です。火を使うときは十分に気を付けましょう。火事が起こらないように祈りながら、団



員と一緒に防火もちつきをしましよ
う」とあいさつして、もちつきがス
タート。

もちつきのうすを囲むように並ん
だ園児たちの「よいしょ、よい
しょ」の元気で大きな掛け声に合わ
せて、団員たちが力強くもちつき。
園児たちも、団員たちの補助を受け
ながら、交代できねを一生懸命に
振って、もちつきを楽しく体験しま
した。

もちつきの合間には、園児たちは
消防自動車を見学。みんなで並んで、
記念写真も撮影しました。

つき上がったもちほは、保護者や保
育士に教わりながら、片栗粉で手を
白くした園児たちが丁寧に丸めまし
た。園児たちは、自分で丸めたでき
たてのおもちを、お互いに見せ合っ
てからおいしくほおばりました。

もちつきを体験して、「きねが重
かったけど、おもちをつけて楽し
かった」と園児たちは話しました。

**「防火の誓い」を宣言
おもちを施設などに配り**

でき上がったおもちほは、消防自動
車の乗車体験を兼ねて、町内の福祉
施設や町役場などを園児たちが訪問
して配布しました。

訪問先では、園児たちは整列し敬
礼して訪問先の皆さんに元気にあい
さつ。おもちを渡した後に、「火遊
びは絶対にしません」と、大きな声
で「防火の誓い」を宣言しました。